

「E-ディフェンス 建物耐震実験見学会」 報告

日本地震工学会では、地震・耐震工学に関連する国内実験施設についての知識を深めるため、E-ディフェンス実験見学会を毎年開催しております。

今年度は、E-ディフェンス震動台によってコンクリート系建物（RC建物、PC建物）を加振し、大地震時の耐震性能を検証する公開実験の見学会を開催しました。

公開実験では、試験体であるRC建物とPC建物を同時に加振しました。見学会の概要は以下の通りです。

日時：平成22年12月15日（水）13：45～16：30

会場：独立行政法人防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター

（兵庫県三木市志染町三津田西亀屋 1501・21 実験棟）

(1) 振動台実験の概要

- 実験は、RC建物、PC建物を並べて振動台に設置し、同時载荷を行いました。（写真1）
- RC建物は新基準に対応した設計でした。PC建物は、壁の基部の浮き上がりを許容する新しい技術を取り入れるものでした。
- 入力波として、見学会当日はJMA-Kobe100%となっています。

(2) 実験結果の概要

- 振動台実験の結果、柱基部は破損しましたが、構造物全体が倒壊に至るほどの被害ではありませんでした。（写真2）
- 柱基部は、かぶりコンクリートの剥落が見られました。（写真3）
- RC建物とPC建物を比較すると、遠くからの見学で明確な違いは確認できませんでした。PC建物のほうが損傷が軽微であったと思われます。

(3) 見学会の様子

- 当日は、23人の方にご参加いただきました。これだけ大規模な実験はめずらしいので、関東方面の方も含めて多数ご参加いただきました。
- 当日はかなり寒い日でありましたが、屋外の他の実験建物の見学も熱心に行われました。（写真4）
- 屋内の実験に際しても、E-ディフェンス関係者に質問を行ったり、ビデオ撮影を行うなど、熱心にご見学いただけました。（写真5、6）
- E-ディフェンス研究施設のスタッフの方々のご尽力により、大変有意義な見学をすることができました。この場をお借りし関係各位に感謝申し上げます。



写真 1 振動台実験状況（実験前）



写真 2 振動台実験状況（実験後）

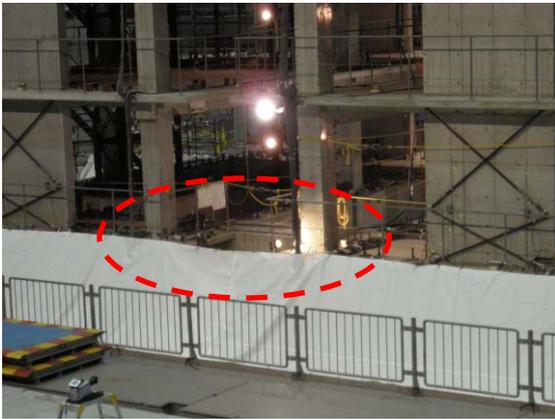


写真 3 柱基部の損傷状況（RC 建物）



写真 4 屋外の実験建物の見学状況



写真 5 振動台実験の見学状況(1)



写真 6 振動台実験の見学状況(2)

（文責：事業企画委員会 岡崎太郎 防災科学技術研究所／富健一 パシフィックコンサルタンツ株）